

賀来飛霞 略年譜

年号	西暦	年齢	事	項
文化13年	1816		豊後国東郡高田村(現 豊後高田市)に生まれる	
文化14年	1817	1	父有軒が死去(47才)。母の実家(杵築藩鈴木家)へ身を寄せる	
文政4年	1821	5	日出藩の儒学者帆足万里の門に入る	
文政12年	1829	13	杵築藩の十市石谷に絵を学ぶ	
天保5年	1834	18	兄佐之(すけゆき)と上京し、山本亡洋に本草学を学ぶ	
天保7年	1836	20	阿波に赴く(目的不明)	
天保10年	1839	23	3月、瀬戸内海(琵琶湖)に旅行、その後10ヶ月間で尾張・伊勢・近江・播磨・浪花へ旅行。『遊湖日記』『遊尾漫録』を著す。	
天保11年	1840	24	由布岳で採薬を行い『由布嶽彩薬記』『由布嶽彩薬図譜』を著す	
天保12年	1841	25	8月～10月、日向に旅行(高千穂～串間)。『南海日記』を著す	
天保13年	1842	26	1月～6月浪花・木曾・江戸、6月～8月日光・仙台・新潟・京へ旅行し、その間『木曾日記』『日光彩薬記』『瀬戸内海東遊日記』『東北紀行』『奥羽紀行』『日光紀行』『東北州紀行』『物産記聞』を著す。	
天保14年	1843	27	5月まで京都で亡羊より本草学を学ぶ。9月～10月、島原藩の依頼で彩薬を行い、『島原彩薬記』を著す	
弘化元年	1844	28	佐田村(現 安心院町)で医者を開業する	
弘化2年	1845	29	3月～5月延岡藩の依頼で薬草調査を行い、『高千穂彩薬記』を著す。北遊(宇佐～国東半島の仏跡巡り)。帆足万里のつくった漢詩北遊雑詠15首の中から、『画棟 飛庄探露』から号をとり『飛霞』と称す	
弘化3年	1846	30	杵築藩の藩士、増田陳弘の娘、美須と結婚する	
弘化4年	1847	31	島原藩より二人扶持を受ける	
嘉永4年	1851	35	2月『救荒本草略説』全14巻が完成。そのほか『評湖漁考』を著す	
嘉永5年	1852	36	杵築、国東で採薬し、『杵築採薬』を著す。帆足万里死去(74才)	
安政4年	1857	41	兄佐之の死去(59才)のため島原藩医となり、島原に赴任する	
文久3年	1863	47	5月、妻の美須死去(35才)	
元治元年	1864	48	5月、母が死去(77才)	
慶応3年	1867	51	島原藩医医師総領(八人扶持)となる	
明治2年	1869	53	3月、健康上の理由で病といって辞職(医師総領)	
明治4年	1871	55	6月、宇佐郡島原県管轄部の医長になる	
明治9年	1876	60	小倉県第八大医務取締となる。また、宇佐郡公立四日市医学学校長兼病院長となる。	
明治11年	1878	62	伊藤圭介に招かれ、東京・小石川植物園の植物取掛となる	
明治12年	1879	63	『植物雑記』『小石川植物園雑記私稿』『東遊雑記』『植物園暖室目録稿』を著す。また、小笠原島の植物調査を行い『小笠原島航海記聞草稿』を著す	
明治13年	1880	64	帰郷するが、再び上京、小石川植物園植物取調方となる	
明治14年	1881	65	『小石川植物園草木図説巻一』(伊藤圭介と共著)完成する	
明治15年	1882	66	東京で百科節用植物の稿を起こす	
明治19年	1886	70	小石川植物園植物取調方を辞職し、最後の紀行となる『上州黒龍山紀行』を著す	
明治27年	1894	78	3月10日、佐田の自宅で感冒にて死去	

幕末の博物学者 「賀来飛霞」展

ごあいさつ

賀来飛霞は、文化十三年(1816)に島原藩の藩医、賀来有軒の三男として、現在の豊後高田市で生まれました。彼の一家は、代々安心院町の佐田に住んでいた有力者の一族で、飛霞は佐田で医業に携わりながら博物学の研究を行い、後に幕末の三大本草家の一人と称されました。また、東洋・西洋両方の医術を学ぶなど、本草学・医学・画技とその才能は明治二十七年(1894)に78才で亡くなるまで縦横に花開いたのです。

今回、宇佐市民図書館では、賀来飛霞関係資料の所有者である賀来睦三郎氏より資料の借用及び展示について快くご承諾をいただき、このような『幕末の博物学者「賀来飛霞」展』を開催することができました。

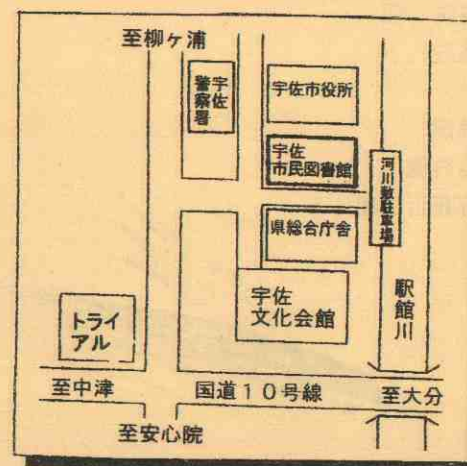
晩年、小石川植物園での研究成果をまとめて日本で初めての植物図鑑を刊行するなど、幕末から明治期にかけて近代植物学の基礎を築いた郷土の偉人は、私たちに学問への厳しさとたゆまぬ努力の大切さを教えてくれています。

平成19年5月19日

宇佐市民図書館／渡網記念ギャラリー

協力：賀来睦三郎氏

大分県立歴史博物館



平成19年(2007)5月19日／編集・発行 宇佐市民図書館

大分県宇佐市大字上田1017-1 TEL. 0978-33-4600

幕末の博物学者

「賀来飛霞」展

ka ku hi ka



賀来飛霞 肖像 (矢野又彦 筆)

2007. 5. 19~7. 1

10:00~18:00(日曜のみ~17:00)
休館日=毎週月曜日・月末木曜日

宇佐市民図書館・渡網記念ギャラリー

協力・賀来睦三郎氏
大分県立歴史博物館

か　く　ひ　か
賀　来　飛　霞

挿図は「幕末の本草学者 賀来飛霞展」図録(第13回国民文化祭 安心院町実行委員会)より転写